



2025年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 株式会社グローバルインフォメーション 上場取引所 東
 コード番号 4171 URL https://corporate.gii.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 莊祐
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理部長 (氏名) 杜山 悦郎 (TEL) 044-952-0102
 定時株主総会開催予定日 2026年3月27日 配当支払開始予定日 2026年3月30日
 有価証券報告書提出予定日 2026年3月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期の連結業績 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	2,567	△6.6	318	△27.3	342	△26.4	232	△26.3
2024年12月期	2,749	△5.8	437	△16.8	465	△17.7	315	△17.7

(注) 包括利益 2025年12月期 232百万円 (△26.3%) 2024年12月期 314百万円 (△17.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年12月期	78.28	78.13	9.3	10.8	12.4
2024年12月期	106.58	106.33	13.2	15.3	15.9

(参考) 持分法投資損益 2025年12月期 ー百万円 2024年12月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期	3,168	2,520	79.5	849.08
2024年12月期	3,164	2,469	78.0	833.76

(参考) 自己資本 2025年12月期 2,520百万円 2024年12月期 2,469百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年12月期	223	△2	△189	1,900
2024年12月期	396	△811	△152	1,869

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年12月期	—	26.00	—	34.00	60.00	177	56.3	7.5
2025年12月期	—	30.00	—	30.00	60.00	178	76.6	7.1
2026年12月期(予想)	—	26.00	—	26.00	52.00		75.7	

3. 2026年12月期の連結業績予想 (2026年1月1日～2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	2,759	7.5	300	△5.5	301	△12.1	203	△12.2	68.68

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年12月期	2,969,000株	2024年12月期	2,962,200株
2025年12月期	681株	2024年12月期	681株
2025年12月期	2,965,792株	2024年12月期	2,956,220株

(参考) 個別業績の概要

1. 2025年12月期の個別業績 (2025年1月1日~2025年12月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期	2,517	△6.8	319	△29.9	345	△28.8	213	△36.3
2024年12月期	2,702	△6.0	455	△17.3	484	△18.0	334	5.8
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2025年12月期	71.90		71.76					
2024年12月期	113.15		112.90					

※ 当社の連結子会社である株式会社ギブテックの株式について、実質価額が低下したことから、「金融商品に関する会計基準」に基づき減損処理を行い、子会社株式評価損として22百万円を特別損失に計上しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2025年12月期	3,165		2,520		79.6		849.14	
2024年12月期	3,179		2,488		78.2		840.21	

(参考) 自己資本 2025年12月期 2,520百万円 2024年12月期 2,488百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2026年3月4日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページ (<https://corporate.gii.co.jp>) に掲載します。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(収益認識関係)	14
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2025年1月1日～2025年12月31日)における世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化等、地政学リスクが依然として燻る状況にあり、加えて米国の通商政策の変更による影響等から、景気の先行き不透明感が高まっております。日本国内においては、景気が緩やかに回復しつつある一方、物価の上昇や為替変動等が国内経済に与える影響も懸念され、依然として注視が必要な状況となっております。

そうした中、当社グループが属する市場調査レポート出版業界においては、最新の市場動向調査レポートに対するニーズが益々高まっております。一方で、インド、中国系の調査出版会社の台頭や調査出版会社自身による直販部門のシェア拡大等が見られ、事業環境は常に変化しております。

このような状況の下、当社グループは幅広い顧客ニーズに対応するため、商品ラインナップの拡大に努めており、AIプラットフォーム型コンテンツの販売にも注力しております。この他、定期的に調査会社との共催セミナーを開催し、関心の高いテーマに関する情報発信に注力しております。販売面では、各種AIツールの提供や購買後のアフターフォロー強化等により、顧客満足度の向上に努めました。顧客の要望に応じたレポートのカスタマイズや委託調査へのアップセルを積極的に提案する取組みを通じて、より付加価値の高い情報サービス需要を開拓しております。同時に、各種WEBマーケティング施策や広告媒体への出稿を行い、GIIブランドの認知度向上による顧客基盤の拡大を図っております。また、国際会議・展示会事業においては、実地開催を中心に徐々に取扱いを増やしております。

株式会社ギブテックにおいては、ZETA通信をはじめLPWA通信に関する製品の開発・販売に努めております。また、非接触型展示会DXシステム「AiMeet(アイミート)」の販売にも取り組んでおり、複数の展示会イベントに導入されております。

この結果、当連結会計年度の売上高は2,567,624千円(前年同期比6.6%減)、営業利益は318,054千円(前年同期比27.3%減)、経常利益は342,611千円(前年同期比26.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は232,163千円(前年同期比26.3%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(市場・技術動向に関する情報提供事業)

当セグメントは、取扱商品・サービスの違いにより、市場調査レポート事業、年間情報サービス事業、委託調査事業及び国際会議・展示会事業の4つに区分されております。以下には事業区分別の業績について記載いたします。

(a) 市場調査レポート事業

当社の主力である市場調査レポート事業は、各種WEBマーケティング施策や顧客訪問を通じて需要の掘り起こしを図ってまいりました。本社部門においては、第2四半期以降、米国関税政策等に起因する不確実性の高まりや検索エンジンのアルゴリズム変更等の影響から、市場調査レポートの受注の低迷が続いており、売上高は前年同期を下回りました。海外部門においては、韓国支店が同国内の政治情勢・景気低迷の影響を受けたこと等から低調に推移し、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、市場調査レポート事業全体では、前年同期比12.3%減の2,034,585千円となりました。

(b) 年間情報サービス事業

年間情報サービス事業は、本社部門においては、年間情報サービスの受注は前年と同水準で推移しており、売上高は前年同期をわずかに下回りました。海外部門においては、韓国支店がやや低調に推移しており、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、年間情報サービス事業全体では、前年同期比2.5%減の178,944千円となりました。

(c) 委託調査事業

委託調査事業は、本社部門においては、委託調査案件の受注は好調を維持しており、売上高は前年同期を大きく上回りました。海外部門においては、韓国支店と台湾支店が順調に推移したものの、ヨーロッパ支店の受注が落ち込み、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、委託調査事業全体では、前年同期比63.2%増の265,002千円となりました。

(d) 国際会議・展示会事業

国際会議・展示会事業は、参加者数が年間を通じて堅調に推移しており、本社部門、海外部門合計の売上高は前年同期を上回りました。

この結果、国際会議・展示会事業全体では、前年同期比7.3%増の39,216千円となりました。

以上より、当セグメントの売上高は2,517,749千円となり、セグメント利益（営業利益）は319,379千円となりました。

（その他事業）

当セグメントにおきましては、株式会社ギブテックにおけるIoT向け無線通信方式であるLPWA通信に関する製品の販売、受託開発等を主な事業にしております。自社ブランド製品「JAZE」シリーズ及び展示会DXツール「AiMeet」の販売促進に取り組んでおり、売上高は前年同期比6.4%増の49,875千円となり、セグメント損失（営業損失）は2,645千円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、4,247千円増加の3,168,993千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ、7,255千円増加の3,074,331千円となりました。この主な要因は、現金及び預金の30,787千円増加、売掛金の13,738千円減少等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ、3,007千円減少の94,661千円となりました。この主な要因は、投資その他の資産のその他の2,227千円減少等によるものであります。

（負債）

当連結会計年度末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ、46,851千円減少の648,440千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ、62,900千円減少の327,193千円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の40,348千円減少、未払法人税等の16,228千円減少等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ、16,049千円増加の321,247千円となりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金の15,060千円増加等によるものであります。

（純資産）

当連結会計年度末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ、51,099千円増加の2,520,552千円となりました。この主な要因は、利益剰余金の42,422千円増加等によるものであります。

なお、自己資本比率は79.5%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、30,794千円増加し、当連結会計年度末には1,900,490千円となりました。

当連結会計年度末におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は223,908千円（前連結会計年度は396,520千円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益342,611千円、役員退職慰労引当金の増加15,060千円、売上債権の減少9,168千円、仕入債務の減少25,989千円、法人税等の支払額129,065千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は2,301千円（前連結会計年度は811,031千円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,302千円、無形固定資産の取得による支出1,005千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は189,628千円(前連結会計年度は152,984千円の減少)となりました。これは、配当金の支払額189,628千円があったことによるものであります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内企業との比較可能性を考慮し、現在は日本基準を適用しておりますが、将来のIFRS適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,669,654	2,700,442
受取手形	2,492	-
売掛金	254,857	241,119
商品及び製品	11,624	11,337
原材料及び貯蔵品	8,421	5,696
前渡金	101,780	87,421
その他	18,244	28,314
流動資産合計	3,067,076	3,074,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,113	24,182
車両運搬具（純額）	4,658	3,106
工具、器具及び備品（純額）	5,428	4,132
土地	12,939	12,939
有形固定資産合計	48,139	44,360
無形固定資産		
商標権	109	85
ソフトウェア	671	1,349
その他	465	465
無形固定資産合計	1,246	1,900
投資その他の資産		
繰延税金資産	16,281	18,626
その他	32,001	29,773
投資その他の資産合計	48,283	48,399
固定資産合計	97,668	94,661
資産合計	3,164,745	3,168,993

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当連結会計年度 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	115,341	74,992
未払金	34,542	30,058
未払法人税等	59,665	43,436
未払消費税等	21,077	25,520
前受金	121,641	113,811
賞与引当金	5,381	5,724
その他	32,443	33,649
流動負債合計	390,094	327,193
固定負債		
退職給付に係る負債	18,843	19,832
役員退職慰労引当金	286,355	301,415
固定負債合計	305,198	321,247
負債合計	695,292	648,440
純資産の部		
株主資本		
資本金	171,565	175,920
資本剰余金	150,573	154,929
利益剰余金	2,147,203	2,189,625
自己株式	△145	△145
株主資本合計	2,469,196	2,520,330
非支配株主持分	256	222
純資産合計	2,469,453	2,520,552
負債純資産合計	3,164,745	3,168,993

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
売上高	2,749,260	2,567,624
売上原価	1,444,335	1,334,193
売上総利益	1,304,924	1,233,430
販売費及び一般管理費	867,135	915,376
営業利益	437,788	318,054
営業外収益		
受取利息	627	4,166
為替差益	19,621	8,163
債務勘定整理益	7,980	11,398
その他	272	1,164
営業外収益合計	28,502	24,893
営業外費用		
譲渡制限付株式関連費用	739	-
その他	74	336
営業外費用合計	814	336
経常利益	465,476	342,611
特別損失		
その他	-	0
特別損失合計	-	0
税金等調整前当期純利益	465,476	342,611
法人税、住民税及び事業税	151,856	112,825
法人税等調整額	△1,225	△2,344
法人税等合計	150,631	110,481
当期純利益	314,845	232,129
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△215	△34
親会社株主に帰属する当期純利益	315,061	232,163

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
当期純利益	314,845	232,129
包括利益	314,845	232,129
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	315,061	232,163
非支配株主に係る包括利益	△215	△34

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	162,509	141,517	1,985,789	△145	2,289,671
当期変動額					
新株の発行	9,056	9,056			18,112
剰余金の配当			△153,647		△153,647
親会社株主に帰属する 当期純利益			315,061		315,061
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	9,056	9,056	161,413	-	179,525
当期末残高	171,565	150,573	2,147,203	△145	2,469,196

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	472	2,290,143
当期変動額		
新株の発行		18,112
剰余金の配当		△153,647
親会社株主に帰属する 当期純利益		315,061
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△215	△215
当期変動額合計	△215	179,309
当期末残高	256	2,469,453

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	171,565	150,573	2,147,203	△145	2,469,196
当期変動額					
新株の発行	4,355	4,355			8,710
剰余金の配当			△189,741		△189,741
親会社株主に帰属する 当期純利益			232,163		232,163
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	4,355	4,355	42,422	-	51,133
当期末残高	175,920	154,929	2,189,625	△145	2,520,330

	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	256	2,469,453
当期変動額		
新株の発行		8,710
剰余金の配当		△189,741
親会社株主に帰属する 当期純利益		232,163
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)	△34	△34
当期変動額合計	△34	51,099
当期末残高	222	2,520,552

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	465,476	342,611
減価償却費	4,405	5,432
敷金償却	669	669
株式報酬費用	4,571	7,524
賞与引当金の増減額 (△は減少)	654	342
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	755	989
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	15,045	15,060
受取利息及び受取配当金	△627	△4,166
為替差損益 (△は益)	△36,776	1,184
その他の損益 (△は益)	-	0
売上債権の増減額 (△は増加)	72,672	9,168
棚卸資産の増減額 (△は増加)	12,517	3,018
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,713	△25,989
その他の資産の増減額 (△は増加)	3,518	△6,781
その他の負債の増減額 (△は減少)	9,013	1,050
小計	557,609	350,113
利息及び配当金の受取額	627	2,860
法人税等の支払額	△161,716	△129,065
営業活動によるキャッシュ・フロー	396,520	223,908
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,010	△1,302
無形固定資産の取得による支出	-	△1,005
定期預金の預入による支出	△1,600,006	△800,000
定期預金の払戻による収入	800,000	800,006
その他	△14	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△811,031	△2,301
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	499	-
配当金の支払額	△153,484	△189,628
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,984	△189,628
現金及び現金同等物に係る換算差額	36,776	△1,184
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△530,718	30,794
現金及び現金同等物の期首残高	2,400,415	1,869,696
現金及び現金同等物の期末残高	1,869,696	1,900,490

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当連結会計年度の期首から適用しております。これによる連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「市場・技術動向に関する情報提供事業」には、市場調査レポート、年間情報サービス、委託調査、国際会議・展示会の4つの商品区分が含まれます。「その他事業」には、連結子会社である株式会社ギブテックにおけるLPWA通信方式を利用した通信機器の販売、受託開発等を含みます。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	連結財務諸表 計上額
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	2,319,789	—	2,319,789	—	2,319,789
年間情報サービス	183,621	—	183,621	—	183,621
委託調査	162,426	—	162,426	—	162,426
国際会議・展示会	36,547	—	36,547	—	36,547
その他	—	46,874	46,874	—	46,874
顧客との契約から生じる 収益	2,702,385	46,874	2,749,260	—	2,749,260
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,702,385	46,874	2,749,260	—	2,749,260
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,702,385	46,874	2,749,260	—	2,749,260
セグメント利益又は損失 (△)	455,612	△19,144	436,468	1,320	437,788
その他の項目					
減価償却費	4,371	34	4,405	—	4,405

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、地代家賃のセグメント間取引の消去1,320千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産及び負債については、資産及び負債に関する情報が最高意思決定機関に対して定期的に提供されておらず、また、業績評価の対象となっていないため記載していません。

当連結会計年度(自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1、2	連結財務諸表 計上額
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
市場調査レポート	2,034,585	—	2,034,585	—	2,034,585
年間情報サービス	178,944	—	178,944	—	178,944
委託調査	265,002	—	265,002	—	265,002
国際会議・展示会	39,216	—	39,216	—	39,216
その他	—	49,875	49,875	—	49,875
顧客との契約から生じる 収益	2,517,749	49,875	2,567,624	—	2,567,624
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,517,749	49,875	2,567,624	—	2,567,624
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,517,749	49,875	2,567,624	—	2,567,624
セグメント利益又は損失 (△)	319,379	△2,645	316,734	1,320	318,054
その他の項目					
減価償却費	5,410	21	5,432	—	5,432

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、地代家賃のセグメント間取引の消去1,320千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. セグメント資産及び負債については、資産及び負債に関する情報が最高意思決定機関に対して定期的に提供されておらず、また、業績評価の対象となっていないため記載していません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり純資産額	833.76円	849.08円
1株当たり当期純利益	106.58円	78.28円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	106.33円	78.13円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)	当連結会計年度 (自 2025年1月1日 至 2025年12月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	315,061	232,163
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	315,061	232,163
普通株式の期中平均株式数(株)	2,956,220	2,965,792
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	6,700	5,879
(うち新株予約権(株))	(6,700)	(5,879)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。